

GWは南三陸町へ

南三陸 ハマーレ歌津

南三陸さんさん商店街
MINAMISANRIKU SUN SUN SHOPPING VILLAGE

サンサンと輝く太陽のように、
笑顔とパワーに満ちた南三陸の商店街



2017年オープン時のハマーレ歌津



5月1日～8月31日はキラキラうに丼



4月31日までキラキラ春つけ丼



さんさん商店街の新看板

新聞 及善蒲鉾店

4月15日(日)

【発行】
株式会社
及善商店
【編集】
及川善弥・沼倉忠彦

南三陸町もう一つ商店街「ハマーレ歌津」が4月23日で1周年を迎える。仲間になるという意味の方言「はまる」、いくつかの「浜」が集まった地であること、海のイタリア語「マール」を掛け合わせた造語から生まれたハマーレ歌津。一度訪れればハマってしまうこと間違いなしのハマーレ歌津に来て下さい。



3月3日に1周年を迎えた南三陸さんさん商店街。商店街の脇を流れる八幡川に国道45号線の汐見橋も開通し、交通アクセスも以前より良くなった。2年目のGW。及善蒲鉾店では炙り笹の試食販売を行う予定。今まで炙り笹を召し上がったことのない皆さんはぜひお試しあれ。5月1日からは南三陸キラキラ丼で一番人気の「キラキラうに丼」の提供も始まる。



第78回 志津川湾ほらほらまつり 福興市
第78回 志津川湾ほらほらまつり 福興市
4月29日 日曜日
南三陸町志津川仮設魚市場特設会場(南三陸町志津川旭ヶ浦8)
9時～13時30分

今月の福興市



福興市in仙台勾当台公園

◆「南三陸福興市in仙台勾当台公園」
東日本大震災後の5月から毎月開催されている南三陸福興市が、仙台市中心部で開催されます。ワカメなどの魚介類の他、出来立て販売も予定。
4月18日(水) 10時～14時
仙台市勾当台公園市民広場特設会場



昨年の大宮駅西ロイベントスペース



昨年11月の三陸産直市

◆JR大宮駅2F
「宮城うまいものフェア」
4月16日～21日
JR大宮駅西ロイベントスペース特設会場
16日 14時～20時
17日 10時～20時
21日 10時～17時
◆JR上野駅改札前
「三陸産直市in上野駅」
5月24日～26日
JR上野駅改札前グランドコンコース特設会場
24日 11時～20時
25日 11時～20時
26日 11時～17時

催事予定



式典の様子(南三陸観光協会HPより)

国道45号線 汐見橋・水尻橋開通

さんさん商店街協力の新国道45号線が開通した。開通した区間は845メートル、八幡川、水尻川をまたぐ汐見橋と水尻橋を含む。防潮堤と合わせて津波からの二重防御を担い、高さ12メートルにかさ上げされている。開通式典後、地元志津川保育所の子どもたちが開通区間を渡り初めし開通



春つけ丼は4月30日まで



炙り笹 試食販売

人気上昇中の「炙り笹」。及善蒲鉾店ではゴールデンウィークの期間、炙り笹の試食販売を行います。炙り笹は、鮎(たこ)、海鞘(ほや)、帆立(はたて)を使用し、南三陸の及善蒲鉾店では、まぼこです。これまで召し上がったことのない皆様、当店自慢の炙り笹を召し上がったみてくださいます。その他、アスの秘伝やカステラ蒲鉾、雑魚揚げなどの試食もご用意しております。



サクラマス 市場魚貝類図鑑HPより

今月のお魚 桜鱈(サクラマス)

サクラの咲く時期にたぐさん獲れ、川を遡上り、塩焼き、西京焼き、刺身、ムニエル、フライ、汁物など、どんな料理にも美味。蒲鉾の原料として使われることはほとんどない。遊泳30～70cmに成長。産卵時に川を遡上する。海に下らずに、一生を淡水で過ごす河川残留型(陸封型)もあり、これを一般に「ヤマメ」と呼ぶ。旬は桜



陸封型のヤマメ



ペンペ

弊社新工場の裏の傾斜面にキクザキイチゲと呼ばれる一輪草が咲き始めている。一輪草の花言葉は「追憶」。先月末、インドネシアに市場調査に行った。そこで現地の郷土料理、ペンペと呼ばれる練り製品を食べた。蒲鉾というより、すいとんのようなモチモチの食感でおいしかった。ペンペを路上で販売していたおじさんと話をしたら、製造場所に案内してもらった。工場では20名程度が作業していた。消毒や換気などの機能は特に無く、はつきり言って不衛生である。なんだかすごく昔にタイムスリップしたかのような気持ちになった。その経営者の方にお話を聞いてきた。「この従業員は学校に通えない貧しい人達だ。機械などを使えないこの人たちが一つ一つ手作りで成り立っている。工場にハエがいるのは自然のものを使っている証。最終的に加熱しているから大丈夫。」正直、理解し難いところもあったが、なんだか不思議なほど理にかなっているように感じてしまう。従業員はみんな食の規制がますます厳しくなっている日本において、忘れてはいけないものは何なのかを改めて考えさせられる体験となった。100年前くらいの南三陸の追憶を一輪草に聞いてみたい。及川善弥

ひとこと